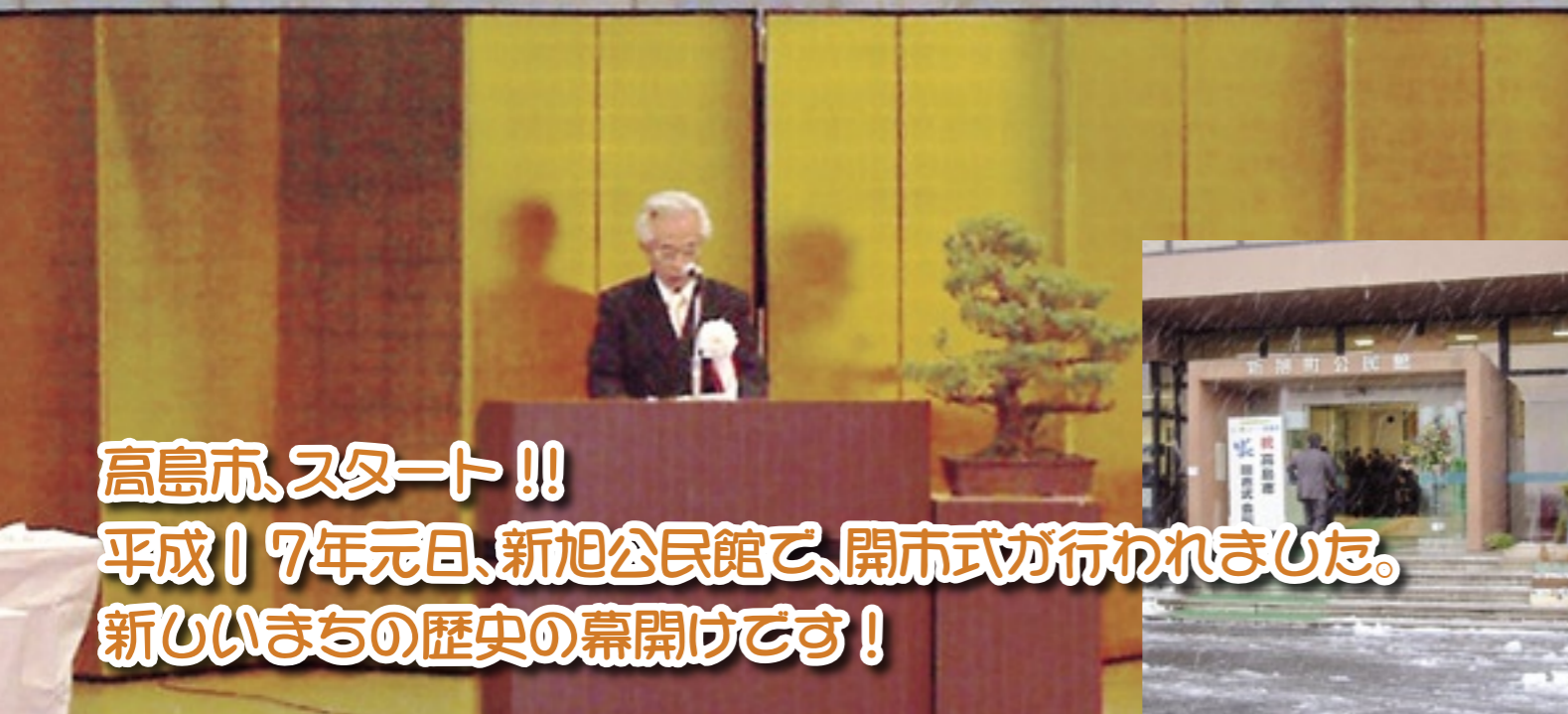


広報たかしま takashima

みんなで育てよう！ 水と緑 人のいきかう 高島市

創刊号

祝 高島市開市式



高島市、スタート！！
平成17年元旦、新旭公民館で、開市式が行われました。
新しいまちの歴史の幕開けです！

CONTENTS 目次

- 職務執行者あいさつ…………… 2・3
- みんなの声～高島市誕生によせて～…………… 4～7
- 高島市の概要と将来目標像…………… 8・9
- まちネタ写真館…………… 10・11
- 情報お知らせ版…………… 12～16

1月号
January



2005
January
No.1

Home Page Address
www.city.takashima.shiga.jp
Mail Address
info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2005.1.10発行

Takashima 2005 January No.1

発行・編集 高島市役所企画部広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑665番地 0740-25-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールボックス info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩

高島郡の成立

1月1日にマキノ町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町が合併して新しく誕生した高島市の地域は、古くから高島郡と呼ばれてきました。

高島郡の成立は、今から約1300年前にさかのぼります。大宝元年(701)に定められた大宝令では、全国的に国名が統一され、現在の滋賀県は、「近江」と称されることになりました。同時に、国内の行政区画が整備され、以後長く続く日本の行政区画である国・郡・里制度ができあがりました。里はその後、郷に変更され、高島郡内にはこのころ、神部・三尾・高島・角野・木津・桑原・善積・川上・大庭・鞆結の郷が成立しました。

郡には、行政を掌握する庁舎である郡衙(郡家)が設置され、郡の政治を司る郡司がおかれました。

高島郡の郡衙の場所は、現在確定されていませんが、発掘調査の結果などから、今津町の日置前遺跡、高島町の鴨遺跡などが郡衙跡の可能性をもつ遺跡であると考えられています。



大庭神社



津野神社



筏流し



安曇川



水尾神社



木津浜

高島郡は、早くから湖西の交通の要衝として発展しました。湖岸にそって走る国道161号は、古代には北陸道、中世・近世には西近江路・北国海道などと呼ばれ、日本海と都を結ぶ大動脈として活用されました。また、朽木谷の山中を南北に走る国道367号は、北国と京の都を結ぶ最短路として知られます。さらに、今津町から西へ向かう国道303号は、若狭小浜と琵琶湖を結ぶ街道として、また国道161号のうちマキノ町海津から北へ向かう山越えの道は越前敦賀と琵琶湖を結ぶ街道として、それぞれ多くの人や物が行き交いました。

また、安曇川や石田川の水運などが利用できるように、杣(材木をとる山)が発達し、郡西部にひろがる山々から多くの木が川をくだって琵琶湖沿岸まで運ばれ、湖上の水運を利用して京・大阪方面へ運ばれました。

こうした、道や川をとおしてさまざまなつながりをもってきた「高島郡」という地名は、古代・中世・近世をとおして、そして明治になり町村制が施行された後も、変わらず使われ続けられてきました。

その「高島郡」も、昨年12月31日、1300年の歴史に終わりをづけ、新年の幕開けとともに、「高島市」が誕生することになりました。



住民票交付を受ける玉垣市長職務執行者

編集後記

▼市民の皆様 明けましておめでとございます。平成17年元旦、高島市がついにスタート！雪の降る中行われた1日の開市式では、旧5町長から玉垣市長職務執行者へ、それぞれの町で育まれてきた想いと共に職務の引き継ぎが行われました。また4日には、新市のシステム稼働開始にあたり高島市となつて初めての住民票が発行されました。新年の訪れとともに新しい歴史のページが開かれていきます。▼人口約5万6千2百人、滋賀県で一番大きな面積をもつ市となったふるさと高島ですが、まずは、北はマキノの国境から南は高島の鶴川まで、駆け回ってみたく思います。(広報担当)



古紙配合率100%再生紙を使用しています